

まちづくり市民ワークショップ
【全体報告書】



令和3年7月

龍ヶ崎市

目 次

1. 開催の概要について	1
2. 開催の目的等について	1
3. グループワークの全体テーマ及びグループテーマの設定	2
4. グループワークの実施の流れ	3
Step1 __グループごとに設定されているテーマに基づき、あなたが龍ヶ崎市長だったら、 「こんなまちにしたい」「こんなことをしたい」と思うことを書いてみよう！	3
Step2 __他のグループメンバーの意見を聞いてみよう！	4
Step3 __これまでの意見をまとめよう！	5
Step4 __グループ発表！	5
5. グループワークの成果	6
■グループAの成果.....	6
■グループBの成果.....	11
■グループCの成果.....	14

1. 開催の概要について

(1) 開催日時／場所／参加者

- 開催日時：令和3年6月26日（土） 開始：午後1時／終了：午後5時
- 場 所：龍ヶ崎市役所附属棟 1階 第1会議室
- 参加者：合計16名（市民：8名、市職員：5名、社会福祉協議会：3名）

(2) タイムスケジュール

開始時刻	作業内容
13:00～	・開会あいさつ ・開催の趣旨説明、グループワークの進め方 ・情報提供
13:35～	・グループワークに関する概要説明・質疑応答 ・Step1 __グループワーク（約60分） ～休憩・席の移動～
	・Step2 __グループワーク（約25分×2回） ～休憩・席の移動～
	・Step3 __グループワーク（約30分）
16:40～	・Step4 __発表（約25分）
16:55～	・講評
	・閉会あいさつ

2. 開催の目的等について

(1) まちづくり市民ワークショップ開催の目的

本市では、令和3年度末をもって計画期間満了となる最上位計画「第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン」の次期計画策定に向けて、市民の意見や考えを反映させるため、まちづくり市民ワークショップを開催することとしました。

まちづくり市民ワークショップで出された意見や考えは、次期最上位計画策定に際しての基礎資料として活用します。

(2) まちづくり市民ワークショップの方式

まちづくり市民ワークショップの方式には、「ワールドカフェ方式」を採用しています。ワールドカフェ方式とは、《カフェ》にいるようなリラックスした雰囲気の中、参加者が少人数に分かれ、テーマに沿って自由に対話を行うものであり、ときどきグループとメンバーを変えながら、話題となるテーマを発展させていく話し合いをする方式です。

3. グループワークの全体テーマ及びグループテーマの設定

(1) 全体テーマの設定

**もしもあなたが龍ヶ崎市長だったら
～龍ヶ崎市が輝く施策～**

(2) グループテーマの設定

- グループAのテーマ
「龍ヶ崎に住んでみたい、行ってみたい」と思えるまちへ
- グループBのテーマ
「龍ヶ崎で子育てがしたい」と思えるまちへ
- グループCのテーマ
「人がつながり、住みやすい」と思えるまちへ



↑会場全体の様子

4. グループワークの実施の流れ

Step 1 __グループごとに設定されているテーマに基づき、あなたが龍ヶ崎市長だったら、「こんなまちにしたい」「こんなことをしたい」と思うことを書いてみよう！

【作業1】

- ・受付時のくじ引きにより決まったグループ内での自己紹介。
※氏名、住んでいる地域、龍ヶ崎市のお気に入り。



↑ Step 1_作業1の様子

【作業2】

- ・グループごとに設定されているグループテーマに沿って、「こんなまちにしたい」「こんなことをしたい」と思うこと
の意見出し。
※黄色の付箋への書き出し。



↑ Step 1_作業3の様子

【作業3】

- ・各自、付箋に書いた意見を簡潔にグループメンバーに説明しながら、意見のグルーピングを実施。

【作業4】

- ・意見のグルーピング後、重点施策として検討を深めていく方向性を定める。



↑ Step 1_作業4の様子

【作業5】

- ・グループで定めた重点施策の方向性を踏まえ、「活用できる地域資源」「実現に向けた課題」「実現に向けた取組」の意見出し。
 - ▶活用できる地域資源：緑色の付箋
 - ▶実現に向けた課題：赤色の付箋
 - ▶実現に向けた取組：青色の付箋



↑ Step 1_作業5の様子

【作業6】

- ・グループに残るグループオーナーの決定。
『グループオーナーの役割』
 - Step 1 の最後にグループでの話し合いの状況を発表。
 - Step 2、Step 3 での進行役。
 - Step 4 ではグループワークの成果を発表。

Step2_他のグループメンバーの意見を聞いてみよう！

【作業1】

- ・グループオーナー以外のグループメンバーは、別のグループへ移動し、移動先のグループで自己紹介。
※氏名、住んでいる地域、龍ヶ崎市のお気に入り。



↑ Step2_作業1の様子

【作業2】

- ・グループオーナーを中心に、新たなメンバーで、グループの重点施策の方向性に対する「活用できる地域資源」「実現に向けた課題」「実現に向けた取組」の意見出し。
 - ▶活用できる地域資源：緑色の付箋
 - ▶実現に向けた課題：赤色の付箋
 - ▶実現に向けた取組：青色の付箋

～Step2では、【作業1】【作業2】を2回実施～



↑ Step2_作業2の様子 その1



↑ Step2_作業2の様子 その2



↑ Step2_作業2の様子 その3



↑ Step2_作業2の様子 その4

Step3 __これまでの意見をまとめよう！

【作業1】

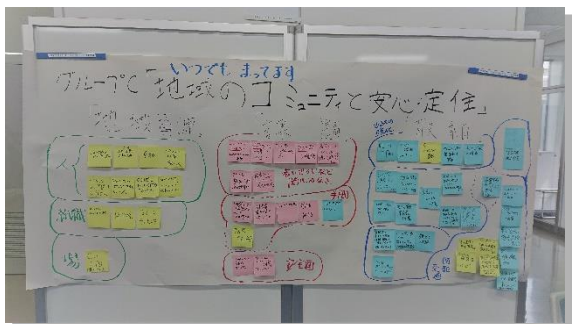
- ・最初のグループに戻り、グループオーナーを中心に、重点施策に対して出た意見のまとめ。
- ・発表に向けた意見のまとめが出来たら、重点施策の施策名を考える。



↑Step3_作業1の様子【グループA】

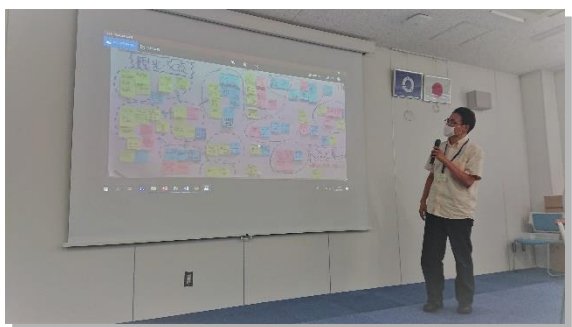


↑Step3_作業1の様子【グループB】

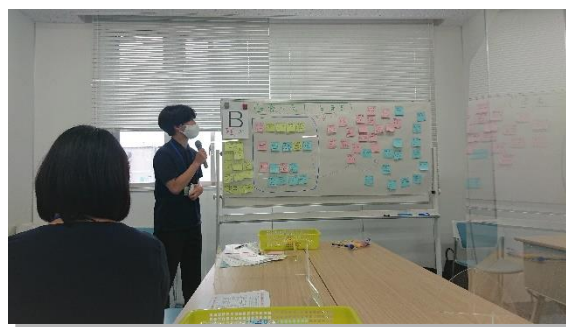


↑Step3_作業1の様子【グループB】

Step4 __グループ発表！



↑Step4_発表の様子【グループA】



↑Step4_発表の様子【グループB】



↑Step4_発表の様子【グループC】



5. グループワークの成果

■グループAの成果

●グループテーマ：「龍ヶ崎に住んでみたい・行ってみたい」と思えるまちへ

(1) 重点施策につながる意見

<p>【自然】</p> <ul style="list-style-type: none">・自然が豊か。・水辺、緑の散歩ロードのあるいやしのまち。 <p>【観光・交流（食）】</p> <ul style="list-style-type: none">・おいしい物が食べられる。 <p>【観光・交流（観光・イベント）】</p> <ul style="list-style-type: none">・季節のイベントがある（お花見、夏祭りなど）。・見応えのある観光資源。・神社、寺院等パワースポットがあるまち。 <p>【観光・交流（個性・特性）】</p> <ul style="list-style-type: none">・龍ヶ崎市でしか見られないものを。 <p>【観光・交流（歴史）】</p> <ul style="list-style-type: none">・神社、寺院等パワースポットがあるまち。・歴史、伝統の学べるまち。・歴史まとめ発信。 <p>【観光・交流（商業・賑わい）】</p> <ul style="list-style-type: none">・日用品の買い物がしやすい。・特産品があり、お土産が選べるまち。・駅前をにぎやか、きれいに。	<p>【観光・交流（その他）】</p> <ul style="list-style-type: none">・農業体験が出来るまち。 <p>【交通・移動】</p> <ul style="list-style-type: none">・公共交通が利用しやすい。・交通アクセスが良い。・自動運転のバス・タクシー。・通学バス（小中学校）。 <p>【教育】</p> <ul style="list-style-type: none">・通学バス（小中学校）。・健康診断（予防接種）無料化。・PTA廃止。 <p>【大事なこと】</p> <ul style="list-style-type: none">・ゴミのポイ捨て→取り締り。・暴走族撲滅。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none">・治安が良い。
---	--

グループAの重点施策：観光・交流

(2) グループで決めた重点施策に対する意見

【いろいろな資源（関東鉄道竜ヶ崎線）】

資源	課題	取組
<ul style="list-style-type: none"> ・ 関鉄／竜ヶ崎鉄道。 ・ 竜鉄。 ・ 竜鉄。 ・ 竜ヶ崎鉄道。 ・ 竜鉄+食べ物？ ・ 龍ヶ崎市駅。 ・ 龍ヶ崎市駅。 ・ 駅前商店街／活性化／レトロ感。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅の出入口に季節ごとの飾り。例) 7月：七夕飾り

【いろいろな資源（牛久沼）】

資源	課題	取組
<ul style="list-style-type: none"> ・ 牛久沼。 ・ 牛久沼。 ・ 牛久沼。 ・ 牛久沼（白鳥）。 ・ 水辺／鶴・白鳥の宣伝。 ・ 釣り場。 ・ 牛久沼／牛食い伝説。 ・ 牛久沼の道の駅。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 牛久沼のイメージアップ。 ※うなぎ？ ・ 道の駅の建設は？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 花火。

【いろいろな資源（食）】

資源	課題	取組
<ul style="list-style-type: none"> ・ コロッケ。 ・ コロッケ／トマト。 ・ うなぎ。 ・ 鰻屋。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロッケと何か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ うなぎの復活／水産資源研究。

【いろいろな資源（保全活動等）】

資源	課題	取組
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観光資源の保全（きれいに保つ）。 ・ ごみのポイ捨て。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 霧体験ツアーキャンプ。 ・ 清掃活動。 ・ 花をたくさん植えて、観光スポットに。

【いろいろな資源（農業）】

資源	課題	取組
<ul style="list-style-type: none"> ・横田農場。 ・農協。 ・女化の農家。 ・お米。 		<ul style="list-style-type: none"> ・アグリツーリズム。 ・「アグリツーリズム」「サイクリング」「うなぎ」のパッケージ化。 ・子どもの体験ツアーの企画。 ・小学生等の花植え（場所）。 ・田んぼ。 ・体験農業。 ・龍ヶ崎の農産物トマト。

【いろいろな資源（森林公園・桜）】

資源	課題	取組
<ul style="list-style-type: none"> ・森林公園。 ・森林公園／1人キャンプ。 ・桜並木。 ・多重塔／しだれ桜。 		<ul style="list-style-type: none"> ・森林公園を利用したソロキャンプやグランピング。 ・自然体験。

【市民の理解】

資源	課題	取組
	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の興味関心。 ・成功体験がない。 ・意外に市民が知らないことが多い。 ・身近だと見えない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光案内人を養成。

【ターゲット】

資源	課題	取組
	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人を呼び込む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・和の体験(田んぼ・おふとん)。 ・東京の子育てに熱心な層に特化する。 ・シニア世代に特化する。

【個々を結ぶ（近隣との関係性）】

資源	課題	取組
<ul style="list-style-type: none"> ・山にも海にもそこそこ近い。 ・北につくば市、南に千葉ニュータウン。車あれば色々行ける。 ・東京から1時間。来やすい。 ・旧水戸街道若柴宿。 	<ul style="list-style-type: none"> ・移動手段。 ・分かり易い案内。 ・龍ヶ崎市 住むには良いが、観光は。 ・満足できるためには…来てよかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県南市町村協力して観光施策。 ・点を結ぶサイクリングロード。

【個々を結ぶ（サイクリング）】

資源	課題	取組
	<ul style="list-style-type: none"> ・レンタサイクル／ひっそりとある／駅前以外／かっこいい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・レンタサイクル開設。 ・県南市町村協力して観光施策。 ・点を結ぶサイクリングロード。 ・電動キックボードレンタル。 ・セグウェイなどの導入／新型の乗り物等。 ・サイクリングロード／つくばサイクルロードと連結。

【個々の資源で突出したものがない】

資源	課題	取組
<ul style="list-style-type: none"> ・特になし／すべて一般的です。 ・クライミング。 	<ul style="list-style-type: none"> ・突出したものをつくる。 ・突出のための5か年計画の作成。 ・空施設を利用して、そこに●●を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・この町は●●が日本一だと言えるまちづくり。

【その他】

資源	課題	取組
<ul style="list-style-type: none"> ・全国の龍の町交流。 ・防災水害。 ・竜ヶ崎飛行場。 ・飛行場。 ・交流スペース。 ・まいりゅう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・走り屋多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達を呼べるまち。 ・龍のモチーフ（一般から募集）。 ・予算説明／他市と違う届出。 ・気軽に集まれる立ち寄れる場をつくる。

■グループBの成果

●グループテーマ：「龍ヶ崎で子育てがしたい」と思えるまちへ

(1) 重点施策につながる意見

【安全・安心】

- ・安心して子供を遊びに行かせられる。
- ・犯罪にまき込まれない。
- ・事故にあわない。
- ・地域全体で子育てをしてもらえるようなまち。

【医療】

- ・医療機関の拡充。
- ・障がいなどがある子の療育。
- ・地域の方が見守ってくれる平和なまち。
- ・医療のサポートが継続的なまち（子育て以前のサポートも必要）。
- ・いつでも子どもを預かってもらえる体制が整うまち（病気の子も預かってもらえるような）。
- ・子育てサポートがある。
- ・子育て支援の拡大。

【ニュータウン・旧市街】

- ・学校で学べないことを学べる場所（農業とか）。
- ・ニュータウンと旧市街との交流。

【遊び場】

- ・自由に子どもが遊べる場所をつくる。
- ・子どもの居場所がたくさんある。
- ・スポーツ競技ができる施設をつくる。
- ・体を動かせる大アスレチック公園をつくる。
- ・土日子どもが遊べる企画がすぐわかるようなHPをつくる。

【教育】

- ・金融を試しにできる／投資。
- ・子どもが主役の企画（子どもがすべて仕切るスポーツ大会など）。

【その他】

- ・幼稚園や保育園のテーマや色づけを広報に。
- ・小学校や中学校の色づけや区外編成の実施。
- ・なぜ龍ヶ崎市で子育て、住んでいるか徹底的に聞く。

グループBの重点施策：医療が突出したまち

(2) グループで決めた重点施策に対する意見

【身近なところから】

資源	課題	取組
<ul style="list-style-type: none"> ・時間に余裕のある人。 ・さんさん館。 ・公民館／コミュニティセンター。 ・子育て経験のある看護師さん、市内の元看護師さん。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人材（医療・看護師など）の活用←相談窓口として／集め方。 ・定期的に救命医療の方法。（心臓マッサージ等）地区単位など、小規模で学ぶ。 ・ホームドクターの充実／小児科／訪問診療。 ・学校と病院の健診以外での交流。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てサロン、高齢者が子どもを見る（見守る）場。 ・保護者向け講座（予防医療、応急処置など）。 ・医療になるだけかからない健康づくり。 ・AEDの使い方、説明。 ・応急手当のやり方。 ・119番への連絡方法。 ・子育て（小～高）の税優遇ができないか。

【その他】

資源	課題	取組
<ul style="list-style-type: none"> ・大型HP。 ・小規模HP。 ・済生会HP。 ・大病院から小病院まで多種ある。 ・かかりつけ医院。 ・町医者／歯医者。 ・老人ホーム。 ・土地。 ・空き家の活動。 ・飛行場。 ・子育て世代が地域的に集中している。 ・保健センター保健所の活用。 ・私立保育所等障がい児保育事業費補助金6施設。 ・地域医療として差別化できることは？ ・流経大。 ・流経大運動科学。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お金。 ・お金。 ・医療費を無料化できないか。 ・無駄の削減を考える。 ・大型HPを中心とした下部組織づくり。 ・公民館への回診。 ・他の住民の受け入れ。 ・人口少ない？(数のメリット)。 ・空施設を有効利用。 ・人材不足。 ・税金の確保。 ・子育ての不安／緊急時の対応。 ・病院の協力が不可欠（市政でコントロールできる場所がない）。 ・親が子どもを預ける場。 ・親が病気になった時の支援。 	<ul style="list-style-type: none"> ・カウンセリング相談。 ・家庭科／保健教育。 ・重い病気、障がいを持つ人たちが住みたいまち。 ・障がい児保育専門家の雇用。 ・子どもの訪問医療。 ・弱者への声かけ。 ・関係機関への出張講座。 ・子どもの健康セミナー（親向け）。 ・ヘルプマークへの理解と説明。 ・子ども健康体操をつくる。 ・困った時に助け合える制度。 ・流通経済大学に医学部をつくる。 ・24時間体制／夜間でも相談や受入れてくれる病院。 ・みんながお母さん、おばあちゃん。

■グループCの成果

●グループテーマ：「人がつながり、住みやすい」と思えるまちへ

(1) 重点施策につながる意見

<p>【交通】</p> <ul style="list-style-type: none">・交通弱者に優しいまち。・運転マナーの良いまち。・りゅーバスの乗り降りを自由に。 <p>【都市】</p> <ul style="list-style-type: none">・環境と都市／生活協和。・自然環境を生かした施設がたくさんある。・イトーヨーカ堂等の大型店舗に負けない小規模店。・駅前活性化。・旧市街地の復活。・空いている田んぼを活かして、農業したい方を呼び農業振興。・動物園など子ども達が喜ぶテーマパーク。 <p>【地域のイメージアップ】</p> <ul style="list-style-type: none">・牛久沼イメージアップ。・里山の重要性周知。・飛行場を気楽に利用できるまち。・中学生、高校生が楽しめるまち。・流通経済大学が地域と交流するまち。・老人が楽しめるまち。・若い方が住み続けたいと思うまち。・街なかに常に音楽が流れている。	<p>【地域のコミュニティ】</p> <ul style="list-style-type: none">・近隣のコミュニケーションが多くある。・明るい雰囲気。・助け合いグループに皆が入っている。・市民一人ひとりが主役のまち。・地域で頑張っている人の表彰。 <p>【安全・安心】</p> <ul style="list-style-type: none">・古民家の維持。・空き家を活かしたサロン／高齢者の方の集まれるところ。・健康づくりコミュニティ。・市民との対話。・道路整備。・きれいに整備されている。・怖いところがない。・きれいなまち。・お散歩コース整備／知らない人とあいさつできる環境。・安心して出歩ける。・おなかいっぱいになれる。
---	--

グループCの重点施策：地域のコミュニティと安心・定住

(2) グループで決めた重点施策に対する意見

資源
<p>【人】</p> <ul style="list-style-type: none">・大学生。・小中学生、高校生、大学生の意見。・学校。・パソコンに強い人。・元気なシニア世代の皆さん。・おせっかいでへこたれない人。・時間と心に余裕のある人。・地域の見守りなど／ボランティアで活動している人。 <p>【組織】</p> <ul style="list-style-type: none">・各コミュニティセンター／コミュニティ協議会。・自治会。・コミュニティセンター。 <p>【場】</p> <ul style="list-style-type: none">・広い公園（集まれる）。

課題
<p>【若い世代など関心のなさ】</p> <ul style="list-style-type: none">・ニュータウンや若い世代の住民のつながりが希薄。・若年世代の関心がない。・コミュニティを望まない人。・参加率の確保。・若年世代コミュニティに関わる時間がない。・コミュニティを望まない人達も住みやすい。・希望しない人への対応。 <p>【手間】</p> <ul style="list-style-type: none">・時間と心に余裕のある人をさがすこと。・対象者資格者のリストアップ。・コミュニティセンターの利用。・有償、無償。・リストアップ（人材）。・防災組織。 <p>【安全面】</p> <ul style="list-style-type: none">・高齢者の方の自転車、車の運転。・暴走族対策／ゴミのポイ捨て。

取 組

【既存の制度】

- ・親切月間。
- ・声かけ運動（一声）。
- ・いってらっしゃい運動。
- ・おさんぽ見まわり隊。
- ・おやじ隊の増員。

【交通・防犯の制度】

- ・シニアカーの専用レーンの設置。
- ・市内カーディーラーとの協賛。
- ・車両区分の優先道路の設定。
- ・安心：交番の増設／パトカー。
- ・生活ハブへの高齢者レーン（モデルケース）。
- ・「中山選手」の声を流す。
- ・防災スピーカー「野口選手」の声を流す。
- ・楽しめる課題を多く出す。
- ・防災スピーカーで地域の情報を流す。「●●のつつじが咲きました」など。

【人】

- ・高齢者を交えての昔の体験、経験をお話し会として開催（龍ヶ崎の歴史）。
- ・小中学校のコミュニティ疑似体験。
- ・親せき体験。
- ・市の魅力度UPのためのPR。

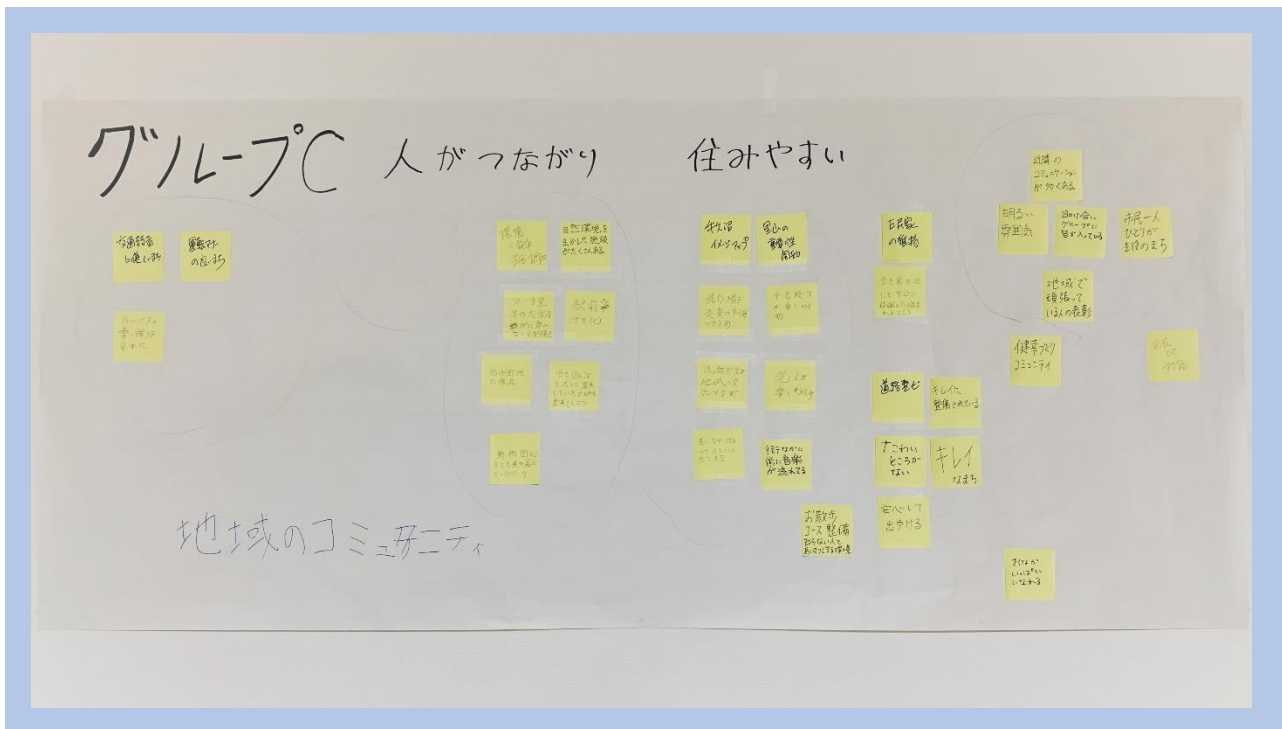
【施設】

- ・SNSを活用したコミュニティづくり。
- ・地域活動をしたい人をつなぐ場。
- ・自然を守る取組を強化。
- ・地域資源、古民家での集い。
- ・農家とニュータウンの交流。
- ・地域の人と年齢を超えたつながり（野菜づくりを教える等）。
- ・空き家、古民家等を利用しシェアハウス or カフェ（公民館以外）。
- ・既存の公園、歩道をブラッシュアップ（みため、機能）。

【その他】

- ・道路脇の草かりや花植え／交通ルール。
- ・災害碑 歴史学習。
- ・水害対策に特化。

●グループワークの成果（その1）



●グループワークの成果（その2）

